

テーマ 治安維持法と現代—2024年東京大会に向けて

講演 「日本国内そして朝鮮・台湾・『満州国』において治安維持法はいかに運用されたか」

講師 荻野富士夫さん（小樽商科大学名誉教授）

2025年は「治安維持法100年」であるが、その年を前に、言論、表現、思想の自由を奪った悪法治安維持法について理解を深めたい。治安維持法は「国体の変革」や「私有財産制度を否認」する結社などを取り締まるため、1925（大正14）年に制定された。朝鮮人、共産主義思想の取り締まりが主な目的で、敗戦時に連合国軍総司令部（GHQ）に廃止を命じられるまでの20年間、国民から言論や表現、思想の自由を奪い、戦時体制維持に猛威をふるった。しかし、「共謀罪」（2015年）に見るように思想弾圧は決して過去の出来事ではない。治安維持法が国内だけでなく植民地朝鮮・台湾そして「満州国」にも運用された歴史に学び、そのうえで現代の形を変えた思想弾圧について考えたい。

治安維持法の歴史に学び、現状を歴史教育者の立場でどうとらえて授業実践につなげることができるのか、ともに考えていきましょう。

午後は、以下の報告と討議の時間になります。

① 「平和への展望を開く学びをどうつくるか」

石山久男さん（歴史教育者協議会前委員長）

② 実践報告「なぜ防衛費をあげるのですか？沖縄学習から、首相に手紙を送った子どもたち」

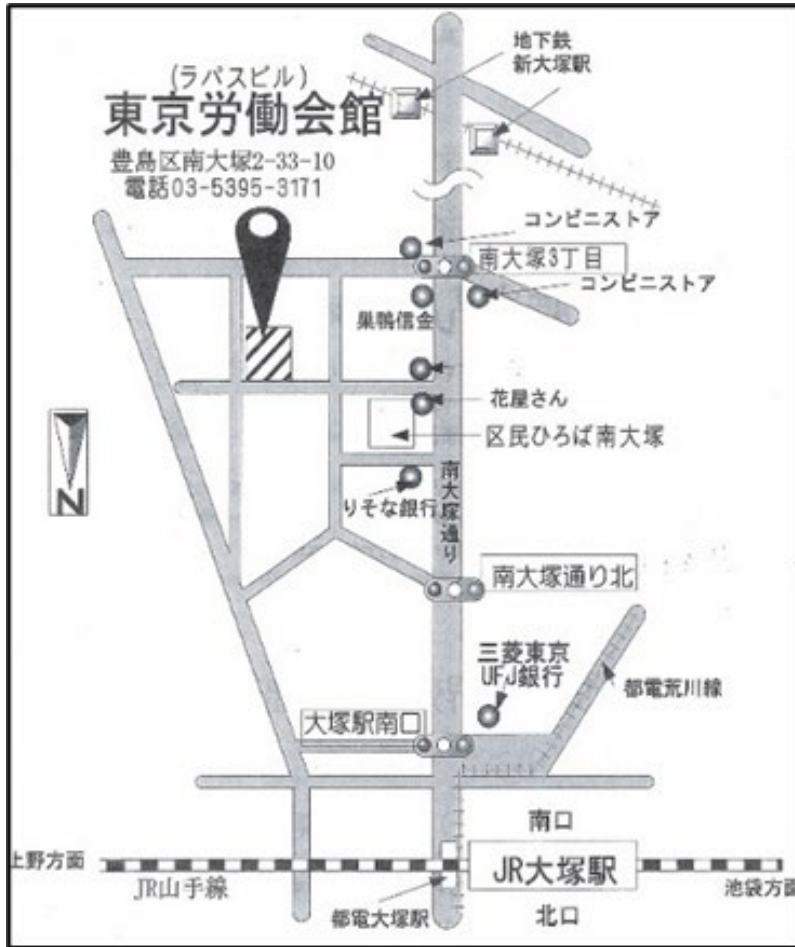
杉見朝香さん（和光小学校）

日時 2024年1月7日（日）10時～16時（**午前** 講演 **午後** 報告と討議）

場所 ラパスホール（東京労働会館7F/最寄り駅 地下鉄丸ノ内線新大塚駅又はJR大塚駅）

参加費 1,500円（学生・院生・U25 1,000円）

会場までの地図



◎参加方法

- ①会場での参加 事前申し込みをしてください。参加費は当日お支払いください。
※当日の申し込みも可能です。知人を誘ってご参加ください。
- ②オンライン参加 (Zoom) 事前に参加費の振り込みが必要になります。

◎参加申し込み

歴教協ホームページの「中間研究集会参加申し込みフォーム」で申し込んでください。

<https://www.rekkyo.org>

- *オンライン参加申し込み・参加費支払い締め切り 12月27日(水)
1月4日(木)までには「招待URL」と当日の資料をメールでお送りします。
オンライン参加費振り込み先(ゆうちょ口座)
- *ゆうちょ銀行から…記号番号 10140-24269981
- *他行から…普通:〇一八店 2426998 一般社団法人歴史教育者協議会



歴教協ホームページ

お問い合わせ先 歴史教育者協議会事務局
〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-13-8 千成ビル
TEL 03-3947-5701 Eメール jimukyoku@rekkyo.org